

藤井武彦議員



- (議案質疑)
- 1 新エネルギー等関連設備導入促進事業費補助金について
 - 2 東予東部3市こども急患センター運営事業について

脱炭素社会の実現を！

電気自動車購入補助金

問

新たに電気自動車を補助対象とした経緯及び対象となる車両や申請方法はどうなっているのか。

答

令和4年度に西条自民クラブから政策提言を受け、SDGsの理念に基づき、具体的な検討を行ってきた。

また、市民アンケート調査においても、補助制度のニーズが高いという結果もあり、

令和7年度から補助制度を開始することになった。

補助対象車両は、国の補助制度の対象となる電気自動車とし、購入した市民に対し、家庭で使用するこども急患センターが市内であること、市税の滞納がないことなどの要件を定め補助金を交付する。申請は4月1日から開始し、1台当たり20万円の定額補助とし、30台分を先着順で受け付ける。広報紙やSNSなどで広報するほか、申請代行者になることができる自動車販売店とも連携し周知を図ることとしている。



東予東部3市こども急患センター

問

子どもを抱える保護者の負担軽減を！

令和7年4月から、今まで空白だった診療時間

間に、東予東部3市こども急患センターで一次救急医療が受診できるようになるが、新

居浜市まで行くには移動時間がかかるため、市単独の実施はできなかったのか。

答

東予東部3市は特に小児医師が少ない圏域であり、小児一次救急医療の維持が困難になっている。広域化について、愛媛大学医学部から提案があり、協議の結果、同大学の協力を得てこども急患センターを運営することになったもので、専門医不足の中、限られた医師を分散させることは不可能であり新居浜市に集約することになった。

佐々木

充議員



- (議案質疑)
- 1 グローバルイングリッシュスクール事業について

外国語指導助手の

配置による効果は？

問

本事業で令和6年9月からALT(外国語指導助手)が勤務していることによる成果について、どのように評価しているのか。

また、事業をより効果的に推進するための課題や改善点についてはどのようなものがあるのか。

答

ALT配置後の成果として、授業がほぼ英語で行われる中で、児童・生徒たちが積極的にコミュニケーションを取り、英語への関心が高まっていると認識している。

学校からは、児童・生徒が英語での会話を楽しみながら学んでいる様子が見受けられるという意見や、レベルの高い英語授業が行われているという意見を聞いている。

また、保護者からは、子どもたちが家で「英語の授業が楽しかった」と話すことが多くなり、英語教育がより身近で楽しいものになったという声が多くあることから、本事業については、児童・生徒や保護者に高く評価されており、開始から半年程度ではあるが、



楽しみながらレベルの高い英語授業が行われている

事業効果が表れていると認識している。

課題としては、教職員からの意見として、現在のALTの配置数では、小学校5・6年生の週2回の授業の内、1回しか実施できないため、教職員の負担軽減の観点からも週2回の授業を実施できる配置数が望ましいとの意見が多く寄せられている。令和7年度は小学校5・6年生で週2回の授業が実施できるよう、ALTを6名増員するための予算を計上しており、更にALTの能力を生かした効果的な事業実施ができると考えている。